

本剤の服用により、むくみ（浮腫）や体重の増加がみられ、心臓の働きに影響して、息切れ、動悸などの症状が現れることがあります。

心臓の病気（心筋梗塞、心筋症、高血圧性心疾患など）を合併している方、またはインスリンを併用している方は特に注意してください。

○むくみ（浮腫）

むくみのために、脚が腫れたり、顔面やまぶたが腫れぼったくなるなどの、症状が現れることがあります。

○体重の増加

体重の増加が現れることがあります。体重は出来るだけ毎日測定し、急激な体重の変化に注意してください。

○息切れ、動悸

労作時に息が切れたり、動悸がするなどの症状が現れることがあります。症状が進行すると、安静にしていても症状が現れることがあります。



このような症状は、本剤の服用を始めてから早期に現れることがあります。これらの症状に気付いた場合は服用を中止して速やかに医師・薬剤師に相談してください。

ピオグリタゾン錠15mg・30mg「タイヨー」

を服用される患者さんへ

このお薬は血糖値を下げる働きのある糖尿病薬です。副作用についての注意は、必ず家族やまわりの方にも知らせてください。

ピオグリタゾン錠
15mg「タイヨー」



ピオグリタゾン錠
30mg「タイヨー」



本剤の服用により、むくみ（浮腫）や体重の増加がみられ、心臓の働きに影響して、息切れ、動悸などの症状が現れることがあります。

心臓の病気（心筋梗塞、心筋症、高血圧性心疾患など）を合併している方、またはインスリンを併用している方は特に注意してください。

○むくみ（浮腫）

むくみのために、脚が腫れたり、顔面やまぶたが腫れぼったくなるなどの、症状が現れることがあります。

○体重の増加

体重の増加が現れることがあります。体重は出来るだけ毎日測定し、急激な体重の変化に注意してください。

○息切れ、動悸

労作時に息が切れたり、動悸がするなどの症状が現れることがあります。症状が進行すると、安静にしていても症状が現れることがあります。



このような症状は、本剤の服用を始めてから早期に現れることがあります。これらの症状に気付いた場合は服用を中止して速やかに医師・薬剤師に相談してください。

ピオグリタゾン錠15mg・30mg「タイヨー」

を服用される患者さんへ

このお薬は血糖値を下げる働きのある糖尿病薬です。副作用についての注意は、必ず家族やまわりの方にも知らせてください。

ピオグリタゾン錠
15mg「タイヨー」



ピオグリタゾン錠
30mg「タイヨー」



◆低血糖症状を起こすことがあります◆

この薬は血糖値を下げる薬です。他の糖尿病薬と併用した場合、血糖値が下がりすぎることがあります。

低血糖症状を起こした時は必ず早めに医師に報告してください。

★低血糖症状とは…

血液中の糖分が少なくなりすぎた状態で、急に強い異常な空腹感、脱力感、発汗、手足のふるえ、目のちらつき等が起こったり、また頭が痛かったり、ぼんやりしたり、ふらついたり、いつもと人柄の違ったような異常な行動をとることもあります。空腹時に起こりやすく、食べ物をとることで良くなるのが特徴です。



頭痛・ふらつき



手足の震え・発汗



目のちらつき

◆服用しているときに低血糖症状を起こしたら◆

・低血糖症状を起こした時は、早めに糖分（砂糖、ブドウ糖など）を服用してください。日頃から糖分を持ち歩き、その場でとれるようにしておく必要があります。

ただし、 α -グリコシダーゼ阻害剤（ボグリボース、アカルボース、ミグリボースなど）を併用している場合は、必ずブドウ糖をお飲みください。

この注意は必ず家族やまわりの方にも知らせておいてください。

・高所作業や自動車試験など、危険を伴う作業を行う際には、低血糖による事故に注意してください。

◆低血糖症状を起こすことがあります◆

この薬は血糖値を下げる薬です。他の糖尿病薬と併用した場合、血糖値が下がりすぎることがあります。

低血糖症状を起こした時は必ず早めに医師に報告してください。

★低血糖症状とは…

血液中の糖分が少なくなりすぎた状態で、急に強い異常な空腹感、脱力感、発汗、手足のふるえ、目のちらつき等が起こったり、また頭が痛かったり、ぼんやりしたり、ふらついたり、いつもと人柄の違ったような異常な行動をとることもあります。空腹時に起こりやすく、食べ物をとることで良くなるのが特徴です。



頭痛・ふらつき



手足の震え・発汗



目のちらつき

◆服用しているときに低血糖症状を起こしたら◆

・低血糖症状を起こした時は、早めに糖分（砂糖、ブドウ糖など）を服用してください。日頃から糖分を持ち歩き、その場でとれるようにしておく必要があります。

ただし、 α -グリコシダーゼ阻害剤（ボグリボース、アカルボース、ミグリボースなど）を併用している場合は、必ずブドウ糖をお飲みください。

この注意は必ず家族やまわりの方にも知らせておいてください。

・高所作業や自動車試験など、危険を伴う作業を行う際には、低血糖による事故に注意してください。

この薬が膀胱がんの原因と断定されたわけではありませんが、海外の研究でこの薬を服用より膀胱がんの発症率がわずかに上がったという報告がありました。

◆膀胱がん治療中の方は、この薬を使用しないこととされています。膀胱がんと診断された場合は、医師・薬剤師に伝えてください。

◆膀胱がんの早期発見のため、血尿や頻尿、排尿痛などの症状が見られた場合には、医師・薬剤師に相談してください。

◆くれぐれもご自身の判断で薬をやめないで、心配な方は医師・薬剤師に相談してください。

○血尿

尿が赤くなることがあります。(痛みを伴わない場合が多い)

○頻尿

排尿の回数が増える場合があります。

○排尿痛

急な尿意や排尿時に痛みがあらわれることがあります。

その他に次のような症状があらわれることがあります。これらの症状に気がついた場合は、医師・薬剤師に相談してください。

食欲不振、皮膚や白目が黄色くなる、全身倦怠感

脱力感、筋肉痛、褐色の尿

みぞおちの痛み、吐き気、黒色の便

発熱、咳、息苦しい

この薬が膀胱がんの原因と断定されたわけではありませんが、海外の研究でこの薬を服用より膀胱がんの発症率がわずかに上がったという報告がありました。

◆膀胱がん治療中の方は、この薬を使用しないこととされています。膀胱がんと診断された場合は、医師・薬剤師に伝えてください。

◆膀胱がんの早期発見のため、血尿や頻尿、排尿痛などの症状が見られた場合には、医師・薬剤師に相談してください。

◆くれぐれもご自身の判断で薬をやめないで、心配な方は医師・薬剤師に相談してください。

○血尿

尿が赤くなることがあります。(痛みを伴わない場合が多い)

○頻尿

排尿の回数が増える場合があります。

○排尿痛

急な尿意や排尿時に痛みがあらわれることがあります。

その他に次のような症状があらわれることがあります。これらの症状に気がついた場合は、医師・薬剤師に相談してください。

食欲不振、皮膚や白目が黄色くなる、全身倦怠感

脱力感、筋肉痛、褐色の尿

みぞおちの痛み、吐き気、黒色の便

発熱、咳、息苦しい